

新春のお慶びを申し上げます

東みよし町長

二〇〇八年の幕開けにあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

旧年中は町政各般にわたり、格別のご支援・ご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、四月には徳島県知事・県議会議員選挙、与野党が逆転した七月の参議院選挙、閣僚による相次ぐ不祥事、福田内閣誕生と政局において激動の一年だったように思います。また、構造改革の最終段階として行われた郵政の民営化は、地域格差の拡大や地方の過疎化を助長するものになるのではないかと、懸念を残したものとなりました。

一方、本町におきましては、昨年十月、国内最大の文化の祭典「国民文化祭文芸俳句大会」を全国各地より多数の参加者をお迎えして盛大に開催することができました。この大会にあたり、至



大なるご支援とご協力をいただきました。多くのお客様の皆様に心より感謝申し上げます。当日投句では、加茂の大クス、美濃田の淵、ぶるるパークを吟行地とし、風情ある景色を楽しみながら作られた俳句を鑑賞させていただきました。また、作品を通じて東みよし町の魅力を再認識することができました。日頃より各地各所において素晴らしい景観を守っていただいております住民の皆様への地道なご努力に對しまして改めて敬意と感謝の意を表します。



併せて、昨年は町民皆様のご協力により、町民運動会も開催することができ、盛況のうちを終了することができました。また、文化協会主催の文化まつりも行われ、活力溢れる二日間となりました。今後も、地域間のつながりを大切に、皆様の知恵と助力をいただきながら協働の町づくりを目指して参りたいと存じます。

さて、景気の回復も地方まで届くには至っておらず、地域格差は益々拡大し、地方交付税の減少は本町財政にとつて大きな打撃となっております。とはいえ、地域情報通信基盤整備事業（地域イントラネット）など必要な事業は遂行しなければならず、



限られた財源の中で最大限の効果を発揮できますよう協議を進めております。今後、今年、来年と公債比率はピークに達し、町としての正念場を迎えます。健全な財政運営維持・財政力強化に向け、事業の見直しなど行財政改革をさらに進めながら、無駄な経費の削減と支出の抑制により一層努力していくと共に、公平な行政サービスを提供するためにも、各種税金・町営住宅家賃・保育料などの滞納状況を把握し、各法令に基づいて的確に処しながら、積極的に徴収に取り組んで参りたいと存じます。

今年元号が平成に変わり二〇年目、そして干支も



第一番目の子年になり、新たな挑戦にふさわしい、始まりの年です。東みよし町もいよいよ三年目。益々の発展・飛躍を目指し、財政の正念場である今年を創意工夫により乗り切っていく覚悟でございます。町民の皆様にはより一層のご理解・ご協力をお願いすることになると思いますが、職員一同一丸となつて頑張つていきますので、よろしくお願い致します。

今年には北京オリンピック等、世界的な大会も多く開催され、スポーツ界の朗報も期待されます。新しい年が、心弾む、素晴らしい出来事がたくさんある一年となるよう願うとともに、皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

あけましておめでとうございませう

東みよし町議会議長

本年は干支の上では一番初めの子年に当たります。そして平成もハタチになりました。

東みよし町の住民皆様方におかれましては、お健やかに希望に満ちた輝かしい新春をお迎えになられましたことと心からお慶びを申し上げます。

東みよし町も合併三年目を迎え、この間、住民皆様方の協力とご支援をいただきながら町づくりに努めて参りました。特に、行財政改革、総合計画、地域情報化基盤の構築など、町の根幹を成す重要課題に取り組み中で、住民皆様方のご意見を施策に反映して町づくりを図ってきたところでござ



ございます。

昨年は、国民文化祭俳句大会、町民運動会、文化協会による文化まつり等町を挙げての行事が相次いで開催され、何れも初めての事業でありましたが大きな成果をもたらしました。

中でも半世紀に一度といわれる国民文化祭俳句大会は、十月二十七日に本大会が開催され、全国から沢山の俳句が投稿されました。加茂の大クスや美濃田の淵を詠んだたくさんの方の句に感動を覚えました。その中に「吉野川寝釈迦の石の光かな」という句がござい

ました。この四国路はお接待

お遍路の国であり、四国八十八箇所は空海による霊場です。仏教の発祥が釈迦如来によることから、「寝釈迦の石」を見られたのは吉野川ハイウェイオアシスからでしょうか。

オアシスでは、四月から十月にかけての日曜・祝日には阿波踊りが公演されていますが、地方の民俗芸能を定期的に気軽に誰でもが観賞できるように披露している場所は珍しく、多くの観光客を魅了しております。最近では、観光バスの乗入台数も年間一万二千台に

迫ろうとしており、高速道からの入場者数は九十四万人と百万人に近づいております。今後周辺整備など観光価値の高揚に努め、地域の活性化につなげていくことは極めて重



要と考えます。



また、体育活動については、町内において優秀な各種活動の成果が報告されております

が、中でも昨年に引き続き三好中学校の駅伝部が県下中学駅伝において、男子は連続優勝して十二月の全国大会へ出場、新年早々の徳島駅伝には三好郡

チームとして全区間出場予定、その原動力として、女子や三好加茂中の生徒とともに大きな期待が寄せられています。

情報通信網整備につきましては、二〇一一年から地上デジタル放送の開始により、CATV網の構築、ブロードバンド基盤の整備、地域情報の発信、IP電話網の整備などについて模索している段階です

が、他市町村の状況等も参考にしながら、住民皆様方のご意見を反映させた情報通信網の構築を図っているところでございます。大きな予算が必要ではございますが、防災無線への活用も視野に入れ、必要な部分を選択して有意義な整備を進めることが望まれます。

町も議会も総意を尽くして町の明るい未来のために懸命に努力しておりますので、現在の厳しさを未来の喜びへの架け橋とするものでありたいものです。

徳島県西部地域にあつて東みよし町は若く勢いのある町といえます。自信と誇りと勇氣をもつてこれからの町づくりに動んでいきたいものです。

私たちは東みよし町議会議員一同は、議会における言論活動を通じて住民皆様方のご意見を行政に反映するよう努力を続けていく覚悟でございますので、今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。

新しい年が皆様方にとって健康でお幸せな年となりますようお祈りを申し上げ、新年のごあいさつにさせていただきます。



はいやくまもと2007

平成19年11月24日(土)、全国から約1,000人のお客様がつめかけ、熊本城下、熊本市民会館におきまして、全国の民謡・舞踊の祭典『はいやくまもと2007』が開催されました。地元連「みのだ連」が徳島県阿波おどり連代表として、世界に誇る阿波の伝統を披露してきました。



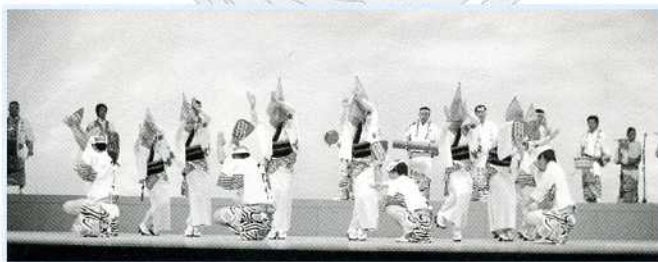
熊本県副知事の挨拶



和の伝統芸能を代表する、佐渡おけさ・エイサー・ハイヤ節と続き、『徳島みのだ連・阿波おどり』は本イベントの大取を務めました。会場を熱気と興奮で満たし、この一大イベントを見事大成功で締めくくりました。「阿波おどりを初めて生で見れて、感動しました。」「来年こそは徳島観光に行きます。」「やっぱり阿波おどりが一番でした。」等、お客様や出演者の皆様から、徳島にとって励みになるたくさんのありがたいお言葉をお土産にいただきました。



本番前の入念な打合せ



とくしま観光PR

同行した町職員は連員と共に観光PRを行いました。「阿波おどり」の効果は絶大で、用意していたパンフレットも好評を博し、徳島までのアクセスやご質問の多かった「阿波おどり会館・オアシス」を中心にご案内させていただきました。

観光振興の新天地「熊本」の手応えを十分に感じることができました。



熊本徳島県人会会長の谷脇様(写真右)と徳島交流大使の多田様(写真左)にも、故郷の阿波おどりを堪能いただき、大変喜んでいただきました。



